



第2660地区



WEEKLY REPORT

# 大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel.(06)6244-1008 Fax.(06)6244-1010

<http://www4.ocn.ne.jp/~semba-rc/> E-mail: [semba@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:semba@cocoa.ocn.ne.jp)

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111

会長:小島 常男 幹事:堀 浩司 会報広報委員長:宮原 彰

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか . みんなに公平か

. 好意と友情を深めるか . みんなの為になるかどうか

第1193回 例会 2015年(平成27年)4月6日

(ロータリー雑誌月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 日比 敬史 副SAA)

ロ-タリ-ソング 「君が代」「船場ソング」

会長の時間 幹事報告 委員会報告 ニコニコ箱報告 出席報告

4月お誕生月会員お祝い

卓話 「さびない身体とこころ」 渡辺 忠之 会員

理事会 4階「藤の間」13:40~

## 前回(3月23日)例会記録

プログレス 片岡 清夫 SAA

### 1. 来客紹介 西村 文延 親睦委員

ゲスト:3名 地区外:2名 地区内:0名 合計5名

ゲスト:国際ロータリー第2660地区 青少年奉仕委員 出口 統士 様

大阪帝塚山ロータリークラブ 交換留学生 Easton EARLS 様

体験例会:中村 昌賢 様

### 2. 会長の時間 小島 常男 会長

ご来客の皆様、体験入会にお越しいただいた中村様、ようこそお越しくださいました。

どうぞごゆっくりなさってください。

昨日は堀幹事、溝畑会員、岩崎会員がIM7組共同事業の献血活動に参加していただき有難うございました。当社の社員が体重50キロに満たなかったので献血できなかったのにお米をいただき、家内も400CC採血して体重が少し軽くなったと喜んでおりました。

先日帝塚山RCに伺ったご縁で、本日は地区青少年奉仕委員会の井口様と春休み中の青少年交換留学生イーストマン君にお越しいただきました。お2人には後で交換留学生についてお話

いただきます。職奉卓話の西村会員、大嶋会員には時間短縮をお願いし申し訳ありませんがよろしくお願ひ致します。

- ・春へのあこがれ
- ・手のひらを太陽に
- ・とんでったバナナ





さて毎月最終例会の会長の時間には楽器の話をしていただいておりますが、もう9回目になりました。

今日はアコーディオンです。近代的なアコーディオンは、1829年にオーストリアのシール・デミアンという人が考案し、和音を意味する accord に器を意味するギリシャ語の接尾語を組み合わせて名付けたそうです。

パリの地下鉄車内で達者なアコーディオンを弾いて回るおじさんをご覧になられた方もおられると思いますが、アコーディオンというと何となくフランスを連想しますので、シャンソン風な曲ができたときにアコーディオンを入れたいと考えて、バンドの森野さんに頼みました。今日はその歌のさわりを聞いていただきます。「雨の遊園地」という曲です。

私も少しだけ弾けるのですがこの前のこともあるので、慣れていないことは止めておくことにいたします。今日は森野さんに弾いてもらいます。

本日の会長の時間は以上です。ご清聴ありがとうございました。

### 3. 幹事報告 堀 浩司 幹事

5月5日(火)ロータリーフェスティバルは、地区より全会員の出席の要請が来ています。

本日メールボックスへ入れております申込書に参加される行事、チャリティーウエアの注文等を記載し次回例会4月6日までにお申し込みをお願いいたします。

2660地区第7組社会奉仕共同事業「命を守る献血活動」、4月12日まで各献血センターで実施しています。会員及び会員会社等の皆様に献血にご協力いただきますようお願いいたします。

船場げんきの会主催による船場フォーラムが3月21日(土)北御堂・津村ホールにて開催されました。清水会員と私、堀が参加してまいりました。

### 4. 委員会報告

#### 国際奉仕委員会 澤田 宗久 委員

皆様方も既にご存じのように、13日に大型サイクロン「パム」が太平洋の島国バヌアツを直撃、甚大な被害を及ぼしています。多くの住居の倒壊、水と衛生状態の劣悪化や食料、医薬品の不足・・・、被災した子ども達は6万人とも8万人とも言われています。我々の活動しているタンナ島が最も被害が大きいようです。

サイクロンの報道があった直後にポートビラRCのリチャード会長とコンタクトを取りお聞きしました。被害が相当大きく大変困っておられました。

我々日本のロータリアンとして、何かできないかと思い、小島会長と相談致しました。会長名で国際ロータリー第2660地区ガバ―泉博朗様宛に、支援の要請書を送らせて頂きました。

その後地区として、協議して頂きました。その結果、地区として事態の緊急性にかんがみ、会員の皆様に「バヌアツ支援募金」をお願い致します、と言う要請書が地区災害支援プロジェクト委員長、福家宏様から、各地区内ロータリークラブ、会長、幹事、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長様宛に届いていますので、会員の皆様ご協力の程、宜しくお願い致します。

#### 親睦委員会 北野 克己 委員長

本日皆様のメールボックスにご案内を入れておりますが、5月17日(日)に春の家族会員親睦バス旅行を開催いたします。世界遺産に登録されている下鴨神社を参拝し、松井酒造の酒蔵の見学をいたします。お昼ご飯は下鴨茶寮を予定しております。21年ぶりに式年遷宮となっている神社の参拝に是非ご家族の皆さんもご参加の程よろしくお願いいたします。

#### 交換留学生カウンセラー 塩尻 明夫 会員

夏にお迎えすることとなるジョシュア君ですが、日本語が出来るらしいことは既にお伝えしております通りです。

また、ご質問も少しずつ頂きつつあります。

カウンセラーとしましては、彼を受け入れるハードルを更に下げるため色々と考えております。

上手くいくかわかりませんが、「スカイプ」(インターネットを利用したテレビ電話)を使って、一足先に例会へ出席してもらうことを企画しております。上手くいくかどうかわかりませんが、皆様ご協力をお願い申し上げます。

別件ですが、姉妹クラブのシンガポールロータリーから、今年も「インストレーション」への出席についてご連絡が来ております。6月の26、27日がパーティとなっておりますので、ご出席可能な皆様は是非ご検討下さい。

## 5. 命を守る献血活動報告 堀 浩司 幹事



3月22日(日)なんばグランド花月前で2660地区第7組社会奉仕共同事業の献血バスによる献血活動が行われました。当クラブからも溝畑会員、岩崎会員、小島会長、堀幹事がティッシュを配りながら街行く人々に献血を呼びかけました。当日の結果は献血受付数98名、採血者85名、不採血者15名でした。今回の献血活動の目標は各クラブ会員数の倍、第7組全体で1000名が目標です。目標にははるかに遠くさらなる会員各位のご協力をお願いいたします。

## 6. ニコニコ箱報告 岩崎 寿英 親睦委員

地区青少年奉仕委員 出口統士様 小島会長お世話になります。イーストン君を宜しくお願いします。

小島 会員 さて本日の会長の時間はうまくいったでしょうか？

溝畑 会員 本日本体で友人の中村様が来られています。宜しくお願い致します。

高階 会員 俣野さん、先日はありがとうございました。

塩尻 会員 ホームクラブ連続欠席申し訳ございません。

北野、堀、藤野、斧原、今泉、平山、俣野、斎藤(満)、杉浦、栗原、井澤、渡辺、小山、片岡、中村、大磯、清水、岩崎、カントーレ、大嶋、沖、武田、甚田、

各会員 センバツ高校野球開幕 がんばれ球児！

## 7. 出席報告 片岡 清夫 S A A

会員総数 40名 出席率計算会員数 40名 出席員数 30名 出席率 75%

第1189回(3月2日) 修正出席率 98%

## 8. ご挨拶 国際ロータリー第2660地区 青少年奉仕委員 出口 統士 様 大阪帝塚山ロータリークラブ 交換留学生 Easton EARLS 様



青少年奉仕委員の出口様が大阪帝塚山RCの交換留学生のEaston EARLS君と共に例会にお越し下さりご挨拶をされました。

## 9. 職業奉仕卓話

「出会い」 大嶋 捷正 会員

人との出会いも、いろいろな出会いが有ります…。嬉しい出会い、悲しい出会い、つらい出会いとさまざまですが、私が今回体験した出会いは大変つらい思いをした出会いで御座いました。私は健康管理のために20年前から年に1度人間ドックに(1泊)かかり、又、天保山にある、大阪みなと中央病院に2ヶ月に1度定期検診も受けております。事の起こりは、今年の2月の定期診断でのことでした。

いつものように検診が終わり会計で清算を待っている時でした。私の横に24~25歳の若い女性が両手を包帯でグルグル巻きにして、少しうつむき加減に放心状態で座っておりました…。何か雰囲気がおかしかったので気にかけて見ておりましたら、詰所から事務員の方が出てまいりまして女性に声をかけました。どうされたのですか…女性いわく、立つことも歩くこともできません。事務員の方は先ほどの先生に聞いてみますと云って事務室に入り、暫くして出てきて、先生がタクシーで帰ってくださいと云ってますよと云ってそのまま女性を残して事務室に入ってしまった。立てない、歩けない患者さんをこのままほっておいていいのかな…。しかし、そんな患者に対してタクシーで帰らなさいと云った医者も医者なら事務員も事務員で…。もう少し心のこもった対応が出来ないものかと腹立たしい思いがこみ上げ、どうしてもほっておけず、女性に声をかけました。どちら迄お帰りですかと聞くと、住之江ですとのことでしたので、私がタクシーを呼んで乗せてあげるから…と云うと、料金いくらかかりますかとの事ですので2~3千円で帰れますよと云ってあげましたが、首を横に振って千円ほどしか持っていないのでタクシーでは帰れませんとの事で、困ったなあ…と思いましたが、女性をほっておくわけにもいかず、その日、私は運転手と病院にきておりましたので、よかつたら送ってあげましょうかと申しました。首を縦にうなずいたようなので、



住之江まで送ることにし、先ほどの事務員さんに、念のため私の名刺を渡し了解を得た上で、女性を抱えるようにして自分の車まで連れて行き車のドアを開け乗せようとしたのですが、私が乗ると車が汚れますと云いました。手のけがと云い、服装の汚れと云い何故なのかなと一瞬思いましたが…。そんなこと気にしなくてもいいから車に乗りなさいと云うと素直にうなずいて乗りました。車に乗せてから、住之江のどこですかと聞きましたが、解らないと云いますので、せめて住宅名だけでも解りませんかと聞きましたら、考えるようにしてから、○○○住宅と云いましたので、カ-ナビに入力をして調べましたが出てきませんでした…。運転手が区役所に電話を入れて○○○住宅の地番地を教えてくださいと云いましたが、個人情報だから云えませんかとの事。運転手も特定の人の住所を聞いているのでは有りませんよと云っても、個人情報だからと云って教えていただけませんでした。それだったら、今、病院で立つことも、歩くことも、自宅の住所もはっきりと解らなく困っている人がおりますので、そちらの(住之江)区役所にお連れしますから、そちらで対処してくださいと申しますと、しばらくお待ちくださいと云って、帰ってきた言葉が、○○○団地は○丁目○番地とやっと教えてくれました。その住所をカ-ナビに入力すると団地名が出てまいりましたので、ほっとして目的地に向かって車を走らせました。相変わらず黙ってうなだれたままでした。私のポケットに飴玉があったのでどうぞという小さくうなずき、口に入れて、優しい伯父さん…ヘルパ-さん見たいと云って初めて笑顔を見せました。やっと心を開いてくれたのかなと思いついたしました。歩けないのどうして病院に来たのかと聞きましたら、救急車で来ましたとのこと。家に父さん、お母さんは居ないのと聞くと、一瞬考えたようですが…お母さんは再婚をして近くに住んでいるとのことでしたので、それだったら、お母さんに連絡しましょうか、それともお母さん宅に連れて行ってあげましょうかと云いますと…駄目、駄目です病気が治って元気になったら帰ってきなさいと云われているから帰れませんか、はっきりと応えました。この子の家庭は一体どうなっているのかな…と、考えさせられました。ふと女性の抱えている小さな紙袋が気になって覗いてみると、小銭に交じって診察券、診療明細、他の病院絵の紹介状が入っていましたので紹介状の宛先に目をやると精神病院宛ての紹介状でした…。やっと女性の状況が把握できました。両手が包帯でグルグル巻きに、衣服はゴミだらけ、立つことさえできない状況…等を考えると、家で精神疾患を起こし錯乱状態になり救急車で病院に運ばれ、病院でかなりきつい鎮静剤を注射され、立つことも、歩く子も出来ず、住所すら応えることもできない状況がやっと理解できました。この子、ご飯は食べているのか…今晚どうするのか…と思いつながら、これで今晚ちゃんと食事をしなさいねと1万円札を渡しました。女性はありがとうでもなくただ無表情に受け取ると、膝もとに置いてある紙袋に無造作に入れました。やっと目的地の団地に到着しました。棟がたくさん立っているのが大変だったのですが、探し回って女性の住んでいる棟にたどり着くことができました。女性は、自分の集合ポストに手を入れて郵便物やチラシ等を、わし掴みにして郵便物を見るでもなく近くにあったゴミ箱に捨てようとするので郵便物が有るから捨てては駄目ですよ注意をしてあげましたが、いいのと云って無造作に捨ててしまいました。自分の住んでいる階と部屋番号は分かっていたようですが、ドアには鍵がかかっておらず、扉を開いて女性を玄関に入れて部屋を見てびっくりしたと云うか、ただ唖然と致しました。左右に8畳ぐらいの部屋が2つ有りますが、部屋中ゴミ(雑誌・新聞・ガラス等の破片)の山でした…。せめて玄関の靴の置き場所だけでもキープしてあげようと手でゴミを触ろうとしたら、触ったらダメ…触ったら手を怪我しますよといいました。病と闘っていながらも優しい一面を垣間見てほっとした半面…何故、こんな優しい心を持っている子を母親は面倒を見ようしないのか…愛情をもって接してあげればきっと社会復帰が出来るのではないかと思いつながらもどうする事も出来ず…「頑張るんやで」と声をかけその場を後にしました。

この「出会い」を振り返って見て、「病院の事務的な対応」「区役所のまさしく、お役所仕事対応」「子を捨てて自分だけの幸せに走る母親」…何か世の中がくるっているような一面を教えられた、つらい出会いでした。

私自身の言動を振り返り、「四つのテスト」に照らせ合わせてみて、女性に何か一つでもお役にたてる事が出来たかと、自分に問いかけてみても何も出来なかったどころか…女性を返って傷つけてしまったのではないか…。

女性に飴玉をあげた時、優しい伯父さんヘルパ-さん見たいと云って笑顔を見せてくれました。お金を渡したときは無表情で袋に入れただけでした。この子はお金ではなく…優しい言葉、優しい心、優しい触れ合いがほしかったのではないかと自分の無力さに反省をし、今でも悩んでおります。

ロ-タリアンの皆さんでしたらこのような出会いが有ればどう接したのでしょうか…。